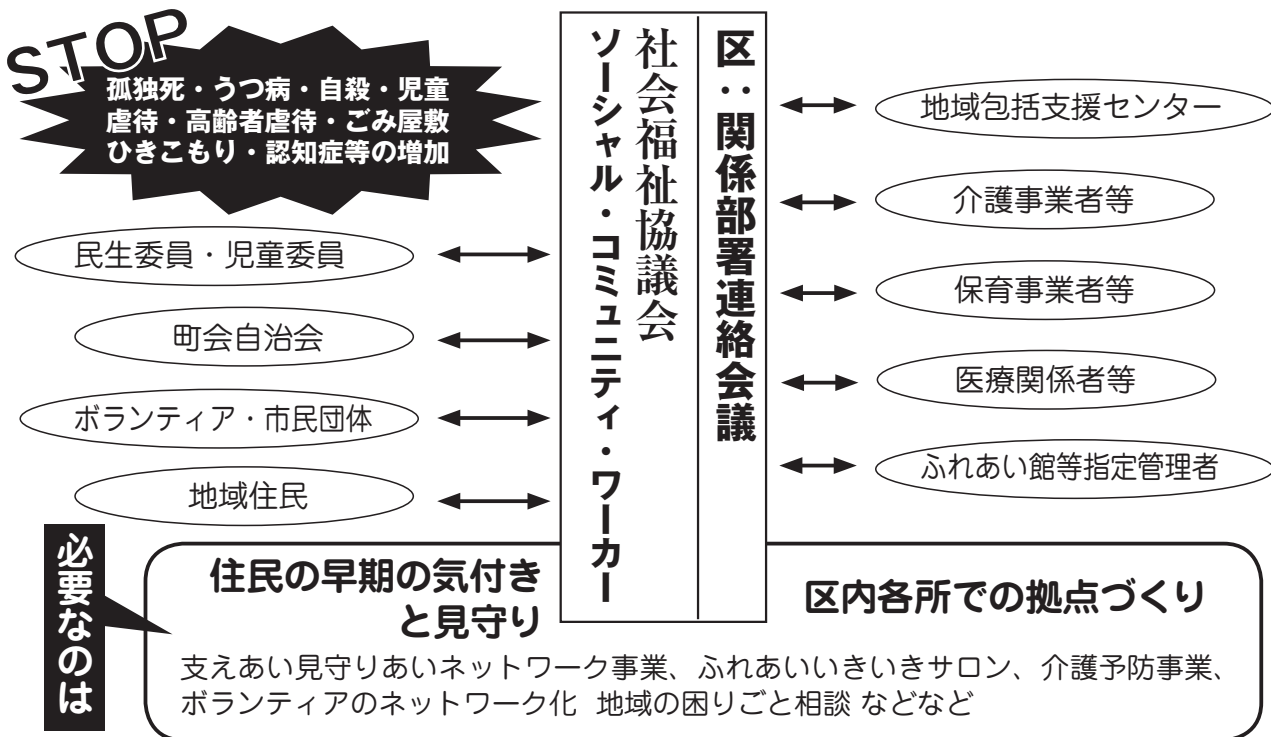


3 地域福祉の充実を

幸福実感都市実現のためには、区と社会福祉協議会との連携を強め隣近所の地域福祉の強化が必要。ソーシャル・コミュニティ・ワーカー（地域コーディネーター）の配置を！



区：ソーシャル・コミュニティ・ワーカーは、支援を必要とする人々に対し、地域とのつながりや人間関係など、本人を取り巻く環境を重視した援助を行う専門的知識を有するスタッフとして、地域福祉活動等を支援する目的で配置される。検討していきたい。

せの：豊中市では、各中学校区に一人配置して、温かい地域づくりに効果を上げている。荒川区での、区と区民の協働の地域づくりをめざすためにも、早期の配置が必要だと思う。

4 アレルギー・化学物質過敏症など健康被害予防のために化学物質の使用を減らそう

① 農薬・殺虫剤をできるだけ控えるよう、厚生労働省や環境省から方針が出されている。区施設の指定管理者をはじめ、区民に広く周知するため、各施設ごとの農薬・殺虫剤の使用状況を公開し、理解を求めたらどうか。

区：使用状況の公開はしないが、周知に努める

せの：農薬・殺虫剤使用をできるだけ控えるには、使用状況の公開が効果的。検討を。

② 化学物質過敏症の患者にとって、香水や整髪料のにおいが発作の原因になる場合もある。患者でなくても、匂いに迷惑する人がいる。香料自粛の啓発はできないか。

区：香料のみをとらえての周知はむずかしい

せの：岐阜市や阪南市ではすでに取り組みを始めている。さまざまな化学物質を減らすための検討を始めて欲しい。

香料（香水・整髪料など）自粛のお願い

香料等は、アレルギー体質の人や化学物質過敏症の方にとっては、アレルギー症状や喘息などを誘発することもありますので、配慮されますようお願いいたします。

「化学物質過敏症」（呼称）をご存知ですか？

建材をはじめ、家庭用品や化粧品などに含まれる化学物質に敏感に反応して、様々な症状があらわれるといわれています。一度、ある程度の量の化学物質にさらされますと、それ以降は、ほんのわずかな量の物質にも過敏に反応するようになります。まだまだ、発症等のメカニズムについて未解明な部分がありますが……